

# 第 35 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2017. 04. 27 薦田 麻莉子

ノバルティスファーマ(株)

選択的 DPP-4 阻害薬/ビグアナイド系薬配合剤

[2 型糖尿病治療薬]

## 『エクメット配合錠 LD/HD』

ノバルティスファーマ(株) 伊東さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢丞先生、内科職員さん、熊山ともみ、相原美穂、空田さやか、細川亜希子  
薦田麻莉子

日本人の糖尿病患者の 9 割が、生活習慣と関係がある 2 型糖尿病である。2 型糖尿病の治療は食事療法、運動療法、薬物療法である。そのうちの薬物療法では単独投与で血糖値のコントロールが十分に得られない場合は、増量や作用機序の異なる血糖降下薬の併用療法が推奨されている。

今回は DPP-4 阻害薬(エクア)とメトホルミンの組み合わせとして国内で初めて発売された合剤エクメットを紹介する。

### 〈効果・効能〉

2 型糖尿病

### 〈用法〉

通常、成人には 1 回 1 錠(ビルダグリプチン/メトホルミン塩酸塩として 50m g /250 m g または 50m g /500m g) を 1 日 2 回朝夕に経口投与する。ビルダグリプチン 50m g 1 日 2 回の単剤治療により効果不十分な場合は、本剤 LD から投与を開始する。

### 〈特徴〉

- ・メトホルミンへのエクア追加併用により良好は HbA1c の低下が認められている。
- ・エクアとメトホルミンの併用からエクメット配合錠へ切り替えることにより服用錠数を減らすことができる

・錠数が減ることにより、薬代も減るため患者の経済的負担が少なくなる。

#### 〈副作用〉

便秘 7 例 (2.9%)、アミラーゼ増加 6 例 (2.5%)、下痢 5 例 (2.1%)、悪心 4 例 (1.7%) 等。

#### 〈考察〉

糖尿病患者の 5 割が併用療法を行っているとの報告がある。薬の数が多ければ多いほど、服用忘れや拒否につながりやすい。そうすると、医師が血糖値の下がらない原因が服用忘れかそれとも食事が原因なのか、薬の作用が弱いのかわからなくなる。そうした事を避けるためにも、きちんと患者さんが薬を服用し続けることが大事になる。

エクメット配合錠は薬の数を減らし、きちんと服用できるように手助けになると考えられる。